

「明日からの英語活動ですぐに使えるアクティビティの提案」(B会場)

## 『中, 高学年でゲーム的な要素を取り入れたアクティビティ』

チーム日章小(高田秀人, 松田多栄子, 齋田千恵)

中学年後半から高学年にかけて, ちょっとした工夫で意欲的に活動できるアクティビティを紹介し  
ます。

### 1 「フリーキック」を使ったアクティビティ

高学年においての out put にむけて, 楽しみながら練習をしていきます。

人 数 4~6人のグループ(1人リーダーを決める)

言語材料 様々な単語や, I like ~. や I want to be a/an ~. などのセンテンス

そ の 他 リーダーは教師の方を向き, ほかの子供は教師を背にしてリーダーと弧の形になっ  
て向かい合う。

リーダーコントロールによるアクティビティ

- ・ リーダーがアクションを取る。(教師が示してリーダーがアクションを取るのが前段階)
- ・ グループのほかの子が答える。
  - \* リーダーがスピーキング, カードを見せるなどのバリエーションあり。

アクションゲーム

- ・ リーダーがアクションを取り, 2問出す。
- ・ 2問出し終わったらグループの端につき, 反対側の端の子がリーダーとして出る。
- ・ 一回りしたら終了。座る。

### 2 定番ゲームを使っのアクティビティ

日本でよく誰もがしたことのあるゲームを活用していきます。

トントンゲーム(クラップ・クラップ)

- ・ グループで輪になり, 各自自分の担当の言葉を決める。
- ・ リズムに合わせてクラップしながら自分のことばと隣の人の言葉を言い, 回っていく。
  - \* 慣れてくるとランダムに回していく。

八百屋さんゲーム

- ・ リズムに乗って, 野菜, 動物など決めたカテゴリーの中で一つ単語を言う。
- ・ 次の人は前の人言った単語を言ってから, 一つ単語を言う。
- ・ 3番目の人は, 前2人の言った単語を言ってから, 一つ単語を言う。順に続けていく。

### 3 「Who am I?」の表を使っのアクティビティ

「Who am I?」の枠のみを使い, カテゴリーと単語をグループで考えて作り上げていきます。利点は, 今  
まで学習した内容を子供達で振り返ることができること, 自分達のアイデアが生かされているのでより  
意欲的に活動できることです。